

Panoptiq簡便観察方法

インターネットに接続しているコンピュータでURL（インターネット上の住所、通常青文字で表示）をクリックする。

お使いのコンピュータのウェブブラウザが立ち上がり、その症例のファイルが開かれる。ブラウザとしてはInternet Explorer, FireFoxも可だが、Chrome, Safariが推奨される。

画面の配置は以下の通り。

中央部の広い部分にはWSI（またはバーチャルスライド）が表示される（仮に**A画面**）。その右上隅にはその時々拡大率が表示される。右下は全体像が表示され（仮に**B画面**）、その中の青色の部分がWSIの拡大として真ん中に表示される黒い背景の左袖にはビデオ撮影したファイルが縦に並んでいる（仮に**左袖**）。

A画面の部分にマウスを当ててホイールを回すとWSIの倍率が変わる。ドラッグすると観察場所が変えられる。この動きはインターネットの速さ、コンピュータの能力によっては遅く感じることもあり。元々のファイルは通常対物10倍レンズで作成しているが、デジタルズームでその2倍の20倍まで観察できる。

B画面の中で、赤点線で囲まれた部分は焦点を変えて観察している様子をビデオ撮影しているところを示す。観察したい部分をクリックするとA画面がその場所に移動する。A画面の赤点線枠内をダブルクリックするとビデオ観察画面（仮に**C画面**）がたちあがる。

C画面はA画面と同じようにホイールで倍率を変えられる。通常対物40倍レンズでファイルを作成しているがデジタルズームでその2倍の80倍まで観察可能。ドラッグ操作観察場所の多少移動ができる。C画面で焦点を変えたビデオを観察するときはC画面の左上の数字の入った灰色の丸枠のうち、弓形の白い部分を左クリックしてつまんで左右に動かすと焦点が変わる。A画面に戻りたいときは左袖の緑文字Main Scanをクリック。

C画面でビデオ撮影した細胞のみを連続して確認したいときは左袖の上下に並んだZ-Stackをクリックする。ビデオ画面が切り替わる。別のビデオを観察するときも同じ。

画面の静止画を撮影したいときはC画面左上のカメラのアイコンをクリックすると静止画がやや小さめに表示され、マウスをその画面において、右クリックで「Save as」を選び保存する。A画面の静止画撮影も画面左上のカメラアイコンを使う。

不明の際は yamasiro@sap-cc.go.jp までご連絡のこと。遠慮なせずに。

（文責： 北海道がんセンター 山城勝重）